網引小学校区幼保小連携だより

つなぐ

2024 年度（令和６年度）
７月　　第４号
網引学区幼保小連絡協議会
事務局（網引小学校）

保育体験ありがとうございました！

網引小学校の１年担任の牧教諭が、６月 20 日（木）網引保育所で保育体験をさせていただきました。保育所の子どもたちの様子や保育者の動き、声かけの様子等、実際に目で見て、聞いて、体感する中で多くの気づきがありました。小学校教育に活かしていくことも見つかりました。網引保育所の皆様、ありがとうございました。秋にはひなぎくこども園さんにおじゃまする予定です。

牧先生いっしょにあそぼう！

シャボン玉！
みてみて！

どこにのりを
つけるの？

先生またきてね！

自分のしたい遊びを選んで友だちとかかわりあいながらのびのびと遊ぶ様子を見させていただきました。七夕かざりを作る際には、先生が「いくつつなげたかな」と問いかけ、子どもが数を自然に数える場面がありました。体験しながら自然に「ことば」や「数」にふれあえる環境が素敵だなと思いました。貴重な体験ありがとうございました。

＜研修会・協議会での話＞
６月 25 日に福山市幼保小連携教育合同研修会がありました。前半は今井教授の講話，後半は校区での連携協議会でした。
研修会・・・「ことば」「数」の獲得は、学力の基盤。子どもたちの実態を見ると「知っていても使えない」状況にある子が多い。幼児期や小学校低学年期に大切にしたいことは「足場かけ」。様々な経験を通して「学ぶことは楽しいこと」と子どもたちに実感させる保育や教育を行っていこう！
協議会・・・小学校でのスタートカリキュラムが成果を上げた。カリキュラムを工夫したことで子どもたちが保育所やこども園から小学校にうまく接続できた。あびき保育所では、体を動かすことが好きという子どもの実態に即した保育を、ひなぎくこども園では、生き物への関心をもとに保育につなげる等、「子どもの姿」を大切にした保育をスタートしている。また、小学校１年生の「ことば」の獲得の状況に課題が見られたことから、互いに「ことば」「数」を自然な形で、また体験活動を通して獲得できるよう保育内容や教育内容を考えていこうという話になった。